

「住んでみたくなる」 あなただけに教える14のヒミツ

町では、皆さんのライフスタイルに合ったさまざまな移住定住に関する支援を行っています。「ふるさとに帰りたいけど、不安な面がある」「子どもをのびのびと育てたい」「住むところは？」など、皆さんの悩みや相談を受け止め寄り添います。日野町であなたのシアワセ見つけませんか？



1 空き家に住む。 (日野町空き家バンク)

「日野町空き家バンク」では、賃貸・売却希望のある空き家を募集・登録し、移住希望者へ情報提供しています。利用できる空き家は町ホームページでも見ることができます。

2 空き家の修繕・家財道具の 処分を支援しちやいます。

▼住んでごしない補助金（移住者向け住宅整備費補助金）

町空き家バンクに登録してある物件を改修する場合、改修費の1/2を補助（補助率1/2、上限100万円、若年世帯については、補助率2/3、上限150万円）

▼断舍離補助金（家財道具等処分費補助金）

町空き家バンクに登録してある物件の家財道具を処分する場合、その費用を補助（補助率10/10、上限40万円）。

4 早い者勝ち?!最新設備 の整った町営住宅も。

▼若者向け住宅&世帯向け住宅

若者向け住宅は40歳未満の人が対象で、3年以内に新築したばかりのオール電化物件。また、世帯向け住宅は、新築したばかりの2階建て3LDK、2階建て2LDKが2棟ずつあります（家賃はそれぞれ月額4万円、3万5千円）。こちらは、UターンやIターンなど町外からの転入世帯（20～40代）を入居対象としています。

※空き状況など詳しくは、役場建設水道課（電話72-0350）へお問い合わせください。



5 築120年の日本家屋がお出 迎え。まずはお試ししからどげかね。

▼日野町お試し住宅 ※家具家電完備、最長3カ月まで滞在可能

町での暮らしを体験できる「お試し住宅」が、4月にオープン。徒歩5分圏内に駅や町役場、スーパー、コンビニなどがあり、日野町での暮らしを快適に体験できます。晴天時には、中国地方最高峰の名峰・大山が日野川を見下ろします。



住む

はじめての移住でも
安心!まずは日野町
民になろう♪

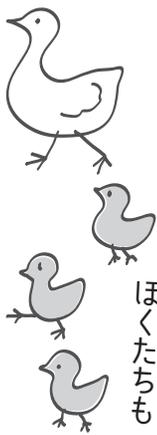


3 もちろん、家を建て直す ことだってできるんです。

▼たて・なおし補助金（移住・定住促進住宅整備費補助金）

3年以内に移住したU・Iターン者や、若年世帯が住宅（実家含む）の新築、改築、購入を行う場合、その費用を補助します（新築：補助率1/2、上限150万円、中古：補助率1/2、上限100万円）

※若年世帯とは、夫婦の両方あるいはいずれか一方が40歳未満、または、中学生以下の子を扶養する世帯をいいます。



7 待機児童って何?「ひのっこ」でのびのび育てよう!

▼保育料の軽減(ひのっこ保育所)

保育料を第1子は町の基準額の2/3に、第2子は1/3に軽減。第3子以降は無料。県内市部より保育料が安い(国の基準額の半額以下)のも魅力の一つです。

8 いつか戻ってきてね。子どもたちの未来を応援

▼あゆ奨学金 ※返還不要の給付型奨学金です。

町内の小・中学生または日野高校に転入した場合、1人につき1万円/月を最大3年間支給します。

▼ナップランドのプレゼント

小学校入学時に町からナップランドを贈呈します。

9 放課後も安心♪地域で見守り育てます。

▼放課後子ども教室 ※月額利用料1,000円

放課後、地元住民による教育活動サポーターが児童を見守ります(平日午後6時まで)。夏休み期間中も行うので、共働き世帯も安心です。

育てる

子どもにも大人にもやさしい。それが日野町の子育て!



6 一人で悩まなくていいんだよ。子育てを楽しもう。

▼日野町版ネウボラ(子育て世代包括支援センター)

妊娠期から子育て期にわたり、総合的な相談支援と各種の支援サービスを行います。出産や子育てが「楽しい」と思えるための支援として、赤ちゃんが生まれた家庭に「育児パッケージ」を送り、出産をお祝いします。また、1歳、2歳、3歳の誕生月には3万円のお祝い金も贈っています。



▼おうちで子育てサポート(日野町家庭子育て支援金)

生後6カ月から3歳未満の児童を家庭内で子育てしている世帯に月額1~3万円を支給します。

▼子育て支援室「おひさまひろば」

子どもたちが安心して遊び、保護者同士が情報交換できる場として定期的に保育所を開放しています。保育所に入所していない子どもたちのほか、里帰りの人、妊婦さんも集える場所です。年間利用料1,000円

10 子どもが心配だけど仕事が…。でも大丈夫!

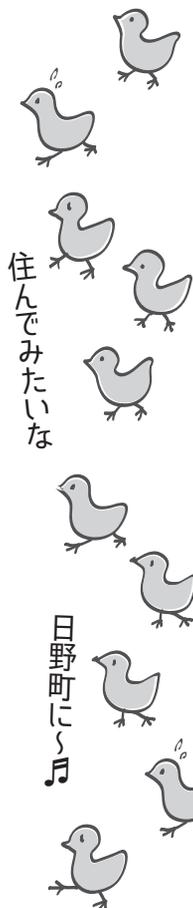
▼小児特別医療費助成。

子どもにかかる医療費の一部を助成します(院外薬局での薬代は無料)。

対象:18歳に達する日以降の最初の3月31日まで。自己負担上限額:通院=530円/日、入院=1,200円/日

▼病後児保育事業

保育所に入所している児童などが、病気の「回復期」にあつて、家庭で育児を行うことが難しい場合に、日野病院内の病後児保育室で預かります。児童1人につき、1日あたり1,000円



11 都会じゃ味わえない!? 一人一人の個性を伸ばす教育

▼ICT(情報通信技術)の活用

小中学校にタブレット端末や電子黒板を導入し、ICT教育を推進しています。

▼地域との交流

町の豊かな自然や歴史、地域との密着性を生かした授業を積極的に取り入れています。子どもたちが調べ学習の成果を地域に出かけ発表したりするのをはじめ、米作りや地域の祭り・行事への参加、日野高校との交流など、人とのつながり、を通し子どもたちは大きく成長していきます。

▼スポーツ指導員の配置

ソフトテニスのトップアスリートをスポーツ指導員として配置し、ソフトテニスの振興に取り組んでいます。